令 和 ２ 年 度　事 業 報 告

１　事業概要

令和２年度は、新型コロナウィルス感染症の世界的規模での拡大という未曽有の事態に見舞われ、雇用情勢をはじめ社会経済活動は大きな打撃を受けました。当センターにおいても、受託事業、派遣事業ともに実績は減少し、さらに４０周年記念事業を始めとして多くの事業が「三つの密」を回避するために中止や規模の縮小を余儀なくされ、会員拡大や就業機会確保に関して大きな影響を受けました。

会員拡大については、高齢者活躍人材確保育成事業による会員募集活動やシルバーポイント制度の導入による入会促進活動を行い、その結果１８５人が入会しました。

一方、就業機会の提供の減少や互助会活動の制限などにより、退会者は１９０人となり、会員数は前年度より５人減となる１，２３６人となり、令和２年度事業目標を達成することはできませんでした。

受託事業についても、４月から６月にかけて公共施設での就業が減少や休止となるなど、大きな影響を受けました。請負・委任及び派遣事業を合わせた受注件数は５，２０５件、契約金額は５７２，５６４千円であり、前年度と比べ受注件数は１２４件の減、契約金額は３８，４４１千円の減額となりました。

安全・適正就業については、「安全・適正就業対策基本計画」に基づき、安全・適正就業委員会等の開催、就業現場への巡回パトロール、「安全ニュース」を発行するなどして安全・安心に就業できる環境づくりに取り組みました。また併せて新型コロナウィルス感染拡大防止に関する取組を実施しました。

保険適用事故の件数については、団体傷害保険適用事故、賠償責任保険適用事故とも前年度に比べ各々２件の増でした。

以上が事業の概要であり、令和２年度の事業活動の内容は以下のとおりです。

２　事業活動の内容

（１）会員の入退会状況

ｱ　会員数（第２次会員 100 万人達成計画　令和２年度目標　会員数 1,300 人）

区分	令和２年度	令和元年度	入会者	退会者	増減	前年度比
男　性	898 人	891 人	129 人	122 人	7 人	100.8%
女　性	338 人	350 人	56 人	68 人	△12 人	96.6%
合　計	1,236 人	1,241 人	185 人	190 人	△5 人	99.6%

ｲ　入会理由

入会理由	人数	比率
生きがい、社会参加	95 人	51.4%
仲間づくり	5 人	2.7%
時間的余裕	22 人	11.9%
健康維持	21 人	11.4%
経済的	40 人	21.6%
その他	2 人	1.0%
合　計	185 人	100.0%

ｳ　退会理由

退会理由	人数	比率
病気	58 人	30.6%
ｼﾙﾊﾞｰを通じて就職	4 人	2.1%
他で就職	18 人	9.5%
死亡	9 人	4.7%
転居	3 人	1.6%
希望する仕事なし	11 人	5.8%
就業機会なし	7 人	3.7%
家庭の事情	24 人	12.6%
会費未納	5 人	2.6%
加齢	43 人	22.6%
他団体へ加入	0 人	0.0%
ｾﾝﾀｰ運営に不満	0 人	0.0%
未回答	0 人	0.0%
その他	8 人	4.2%
合　計	190 人	100.0%

（２）請負・委任事業実績（独自事業含む）

区　　分	令和２年度	令和元年度	増 減	前年度比
受 注 件 数	5,119 件	5,229 件	△110 件	97.9%
契 約 金 額	504,059 千円	540,675 千円	△36,616 千円	93.2%
就業延人員	116,470 人日	124,975 人日	△8,505 人日	93.2%
就業実人員	972 人	1,035 人	△63 人	93.9%
就　業　率	78.6%	83.4%	△4.8 ﾎﾟｲﾝﾄ	

（３）シルバー派遣事業実績

区　　分	令和２年度	令和元年度	増 減	前年度比
受 注 件 数	86 件	100 件	△14 件	86.0%
契 約 金 額	68,505 千円	70,330 千円	△1,825 千円	97.4%
就業延人員	14,057 人日	14,073 人日	△16 人日	99.9%
就業実人員	115 人	112 人	3 人	102.7%

（４）総合就業実人員（請負･委任+派遣）

区　　分	令和２年度	令和元年度	増 減	前年度比
総 合 就 業 実 人 員	1,059 人	1,121 人	△62 人	94.5%

※総合就業実人員＝請負･委任事業等及び派遣事業のいずれかで就業した会員の実人員数

（５）有料職業紹介事業実績

区　　分	令和２年度	令和元年度
契　約　件　数	３件	1 件
就　職　人　数	６人	1 人
手　　数　　料	85 千円	10 千円

（６）組織活動

ア　総　会（ホワイトパレス）

開催回	開　催　日	議　　題　　等
第 71 回	令和２年６月 20 日(土) 午前 10 時～ ※新型コロナウィルス感染拡大防止のため、委任状の提出を推奨し、規模を縮小して開催	・　令和元年度事業報告について ・　令和元年度決算について ・　令和２年度事業計画について ・　令和２年度収支予算について ・　定款の一部変更について ・　役員の報酬等に関する規程の一部改正について ・　総会議事運営規程の制定について ・　役員(監事)の選任について

ｲ　理事会（富士市高齢者就業センター）

開催回	開　催　日	議　　題　　等
第272回	令和2年5月13日(水) 午後1時30分～	・　令和元年度事業報告について ・　令和元年度決算について ・　監事の選任について ・　第71回定時総会の開催方法等の変更について ・　その他
第273回	令和2年7月21日(火) 午後2時45分～	・　令和2年度実施予定事業の中止・変更について ・　特定費用準備資金等取扱規程の制定について ・　その他
第274回	令和2年9月23日(水) 午後1時30分～	・　40周年記念事業について ・　令和2年度収支補正予算（第1号）について ・　令和3年度配分金見積基準額について ・　その他
第275回	令和2年12月4日(金) 午後1時30分～	・　職員給与規程の一部を改正する規程の制定について ・　配分金端数募金の終了について ・　その他
第276回	令和3年1月29日(金) 午後1時30分～	・　遅滞未収金の欠損処理について ・　令和２年度収支補正予算（第2号）について ・　その他
第277回	令和3年3月17日(水) 午後1時30分～	・　令和２年度収支補正予算（第3号）について ・　令和３年度事業計画について ・　令和３年度収支予算について ・　受注業務委託要綱の制定について ・　ｼﾙﾊﾞｰﾎﾟｲﾝﾄ事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について ・　定時総会の開催について ・　その他

ｳ　部会・委員会等の活動状況

名　　称	回数	参加延人数
総務部会	5回	34人
事業部会	5回	34人
会報編集委員会	8回	42人
安全・適正就業委員会	5回	85人
女性部会発足に向けてのワーキンググループ会議	1回	12人

ｴ　職群班の活動状況

名　　称	回数	参加 延人数	名　　称	回数	参加 延人数
みどり友の会	1 回	13 人	公民友の会	1 回	13 人
整輪会	1 回	40 人	ｼﾙﾊﾞｰﾗｲﾌｻﾎﾟｰﾄ部会	2 回	40 人

（7）普及啓発活動

新型コロナウィルス感染拡大防止のため、ふれあいフェスティバルをはじめ、多くの行事が中止となりましたが、次の取組を通じて普及啓発活動に努めました。

ｱ　会報「シルバーふじ」の発行　（３回）　4 月･8 月･1 月

ｲ　「シルバーの日」に市内 2 か所で役職員がチラシ配布　10 月 17 日

ｳ　会員募集チラシを新聞に折り込み、富士市内に 60,000 枚を配布　10 月 20 日

ｴ　会員募集用自立看板をセンター敷地内に設置　10 月 24 日

ｵ　市広報紙「広報ふじ」にセンター40 周年特集記事掲載　10 月 20 日号

ｶ　女性部会発足に向けてのワーキンググループ発足　11 月 25 日

ｷ　新入会員紹介キャンペーンを展開し、入会勧誘を促進　2 月 1 日～3 月 31 日

ｸ　ホームページのリニューアルによる機能の強化　3 月 20 日

ｹ　シルバーポイント制度を活用した会員の声掛けによる勧誘活動　随　時

ｺ　ハローワークやＮＰＯ法人等との連携　随　時

ｻ　地方紙などへの報道提供　随　時

（8）会員の研修・講習

研修等名称	回数	受講者数	内　　容
入会説明会 新入会員研修会	24 回	184 人	入会希望者へセンターの説明ほか
キャリアアップ講習	1 回	53 人	シルバー派遣就労会員対象（在宅学習方式）

（9）役職員の研修

ｱ　富士市長を招き、役員がセンター事業や市政について研修及び意見交換を行い

ました。(7 月 21 日)

ｲ　シルボンヌ全国大会 IN TOKYO2020 に、女性部会発足に向けてのワーキンググループの女性委員と職員がリモートにより参加しました。(11 月 25 日)

(10) 就業機会の拡大

ｱ　就業機会創出員等が発注先を訪問し就業開拓に努めました。

公共関係	民間事業所	一般家庭	計
26 件	66 件	20 件	112 件

ｲ　全会員に仕事情報を配付しました。(8 月)

ｳ　未就業会員に電話で状況確認を行い、希望者に仕事情報を送付しました。(2 月)

ｴ　ホームページ及びセンター掲示板にて仕事情報を公開しました。(月 2 回更新)

ｵ　理事長ほか役員が富士市長及び富士市議会議長を訪問し、公共事業発注の確保及びセンター事業に対する支援について要望活動を行いました。(10 月 29 日)

ｶ　植木剪定作業利用者の利便性向上と作業効率化のため、前年度受注実績のある発注者から、郵便はがきによる植木剪定予約受付を実施しました。

ｷ　ＯＡシステムを更新し、マッチング機能の強化と事務の効率化を図りました。

(11) 高齢者活躍人材確保育成事業 (厚生労働省静岡労働局委託事業) への取組

(公社)静岡県シルバー人材センター連合会が主催する地域の高齢者を対象とした技能講習会に市民が参加し、そのうち 39 人がセンターに入会しました。

講習内容	実施日	会　　場	参加人数
障子・襖貼り	9/3～10/29	富士市高齢者就業センター	6 人
初めてのスマートフォン	9/4～11/6	富士市高齢者就業センター	15 人
福祉家事援助スタッフ補助(清掃編)	10/5～10/7	富士市高齢者就業センター	11 人
学童保育支援員の補助員	10/26～10/29	ラ・ホール富士	30 人
清掃スタッフ養成	11/12～11/13	富士市高齢者就業センター	17 人
植木の剪定	9/5～11/28	富士市高齢者就業センター	9 人
60 歳からの「いきいきメイク術」	2/18	ラ・ホール富士	15 人

(12) 安全・適正就業対策及び健康管理の推進

安全・適正就業を推進するため、第１次安全・適正就業対策基本計画に基づき次の事業を実施しました。なお、新型コロナウィルス感染拡大予防のため「いたわり交通安全教室」「健康づくり講座」については中止しました。

ｱ　安全・適正就業パトロール指導員等による個別訪問件数

公共関連事業	民間事業所	一般家庭	計
102 件	229 件	47 件	378 件

ｲ　定期健康診査等の受診を奨励し、受診率の向上を図りました。

ｳ　安全啓発に関する「安全ニュース」を全会員に配付しました。（年４回）

ｴ　安全就業ワッペン着用キャンペーンを展開しました。（７月）

ｵ　安全標語の募集とヒヤリハット事例の収集を行いました。

ｶ　安全就業チェックシートを活用し、安全意識の向上を図りました。

ｷ　発注先で就業状況を確認するとともに「適正就業ガイドライン」を配付し、自主点検表などにより契約の適正化に向けた提案・調整を図りました。

ｸ　「安全・適正就業のしおり」を新入会員に配付しました。

ｹ　事務所に消毒液・検温器・加湿器・アクリルパネル等を設置し、来所者の新型コロナウィルス感染拡大防止を図りました。

ｺ　新型コロナウィルス感染防止対策の取組における IT リテラシー向上のため、職群班所属会員等を対象としたスマートフォン活用講習を 3 回実施し、延 45 名が受講しました。

ｻ　第 2 次安全･適正就業対策基本計画を策定しました。(令和 3 年度から 3 ヵ年計画)

(13) 保険適用事故の件数

令和 2 年度にシルバー保険（団体傷害保険、賠償責任保険）の保険金を受けた事故の件数は以下のとおりです。

ｱ　団体傷害保険適用事故　　（　）内は前年度の件数

区　　分	男	女	計
就 業 中	7 件（6 件）	1 件（2 件）	8 件（8 件）
就業途上	2 件（1 件）	2 件（1 件）	4 件（2 件）
計	9 件（7 件）	3 件（3 件）	12 件（10 件）

イ　賠償責任保険適用事故　　（　）内は前年度の件数

区　分	男	女	計
就 業 中	5 件（3 件）	0 件（0 件）	5 件（3 件）
就業途上	0 件（0 件）	0 件（0 件）	0 件（0 件）
計	5 件（3 件）	0 件（0 件）	5 件（3 件）

(14) 相談活動

ア　入会相談

センターに来所した高齢者にシルバー人材センターの理念や仕組みを説明し、臨時的かつ短期的または軽易な業務への就業を希望する相談者延 352 人に入会説明会への参加を案内しました。

イ　会員なんでも相談

毎月、第４木曜日を「会員なんでも相談日」とし、未就業の解消やセンター運営の参考とするため、会員を対象とした予約制の相談を実施しました。

(15) 調査研究活動

ア　理事会において事業実績等を検討し、事業運営の改善を図りました。

イ　全会員に会員状況の調査を実施し、就業中の会員には安全・適正就業に関する就業状況の確認などを行いました。

(16) 奉仕活動

コロナウィルス感染拡大防止のため、奉仕活動はすべて中止となりました。

(17) 募金活動

毎月の会員配分金及び職員給料の 100 円未満を「配分金端数募金」とし、その合計額 460,804 円のうち、富士市福祉基金に 115,000 円、歳末たすけあい募金として富士市社会福祉協議会に 115,400 円を寄付しました。（12 月 22 日）

(18) 独自事業

ｱ　富士市高齢者就業センターを拠点に５つの文化教養講座を開講しました（新型コロナウィルス感染拡大防止のため４月から６月の間は休止）。

ｲ　認可外保育施設「ひよこクラブ」を富士市高齢者就業センターのプレイルームで運営し、１歳から４歳までの未就園児を対象とした託児事業を行いました（新型コロナウィルス感染拡大防止のため、４月から５月の間は休止）。